

下館市・関城町・明野町・協和町
合併協議会だより

2004／5 発行 第10号



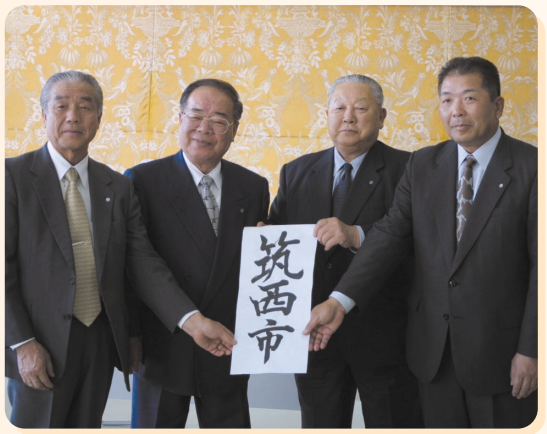
満開の桜の下で開催された「第11回明野薪能」
【明野町町制施行50周年記念事業】

新市の名称は 筑西（ちくせい）市

新市の名称についての協議が第10回合併協議会（明野町いきがいセンター）において実施され、投票の結果、新市の名称については、「筑西市」とすることに決定いたしました。

なお、新市の名称決定により、応募者に対する記念品贈呈者の抽選も併せて実施され、18名の方に記念品を贈呈することが決まりました。

※ 贈呈者については、３ページに掲載させていただきました。



決定した新市の名称を掲げる４市町長

第10回　合併協議会を開催

第10回の会議が４月21日（水）に明野町「いきがいセンター」で開催されました。会議に先立ち、合併協議会委員として委嘱している県職員２名の人事異動に伴う後任者に対し、会長から委嘱書の交付を行いました。

引き続き、会長あいさつがあり、議事としては、報告事項１件が報告され、協議事項４件についての協議が行われました。協議結果については、それぞれ次のとおりです。

新　委　員

茨城県県西地方総合事務所長　大　崎　正　昭　氏
茨城県企画部地域計画課長　笠　尾　卓　朗　氏

報 告 事 項

●**報告第26号　合併協議会規約等に関する協議書の一部を変更する協議書について**

４市町において締結していた協議書の内容について、一部変更（県職員の人事異動に伴う委員の変更）が生じたため変更協議書を取り交わしたものを報告いたしました。

協 議 事 項

●**協議第60号　事務組織及び機構の取扱いについて**【継続協議】
●**協議第71号　新市建設計画について**【継続協議】
●**協議第75号　新市の名称について　＜新市名称の記念品贈呈者の抽選＞**
●**協議第76号　合併協定書（案）について**

協議第60号　事務組織及び機構の取扱いについて

前回提案し継続協議となっておりましたが、協議の結果、次のとおり決定いたしました。

■ 調 整 方 針

❶ 現下館市役所を本庁舎とし、指揮命令系統を明確化し、かつ、簡素で効率的な組織・機構とするため、できる限り行政機能を集約するものとする。
また、現関城町役場、現明野町役場及び現協和町役場については、住民サービスの低下を招かないために、支所機能を有する組織・機構とする。
❷ 現下館市川島支所については、出張所とする。
❸ 地方分権に柔軟に対応できる組織・機構とする。

協議第71号　新市建設計画について

■ 協 議 結 果

前回提案し、県に事前協議を行うことで承認された新市建設計画について、県から事前協議の回答があったものについて、修正のうえ県に本協議を実施することが承認されました。

【新市建設計画の概要は、５～８ページをご覧ください。】

協議第75号　新市の名称について

■協議結果

新市の名称については、委員による投票の結果、筑西市とすることに決定いたしました。
【決定経過は４ページをご覧ください。】

■記念品贈呈者の抽選

新市名称として決定された筑西市にご応募いただいた方のなかから「名付け親大賞１名」と「名付け親賞８名」、そして、新市名称候補選定小委員会が選定し、新市の名称として選ばれなかった９作品の応募者のなかから「優秀賞９名」が抽選の結果、記念品贈呈者として決定いたしました。

新市名称の記念品贈呈者

（敬称略）

賞		応募作品名	氏　名	住　所	賞		応募作品名	氏　名	住　所
名付け親大賞		筑西市	須藤　梢	関城町	優秀賞（９名）	1	あけぼの市	関山　茂	明野町
名付け親賞（８名）	1	〃	大木千嘉	下館市		2	北つくば市	中山繁男	関城町
	2	〃	小島きみい	下館市		3	小貝市	佐藤吉一	明野町
	3	〃	清野宗夫	下館市		4	新茨城市	横田純子	明野町
	4	〃	関谷十三平	下館市		5	筑波野市	中山博正	関城町
	5	〃	羽田容子	下館市		6	にいばり市	大木公子	協和町
	6	〃	須藤あさ江	関城町		7	波山市	青柳真夫	下館市
	7	〃	須藤美幸	関城町		8	常陸野市	下条祐治	協和町
	8	〃	高橋静子	協和町		9	平成市	渡辺　行	下館市

協議第76号　合併協定書（案）について

■協議結果

合併協議会において協議・決定された協定項目について、合併協定書として取りまとめ、４市町において「合併協定調印式」を実施することになります。

現在、49の協定項目すべての協議が完了していないことから継続協議とすることを前提に提案し、内容的なものについては、承認されました。



第10回協議会（明野町）


新市の名称の投票風景

新市名称の投票決定経過

新市名称については、新市名称候補選定小委員会から報告のあった10作品のなかから、投票により決定することになり、次のとおり３段階に分けて投票を実施し、決定しました。

なお、投票は県職員を除いた出席委員44名により実施しました。

第1次選考

第１次選考においては、10作品の中から１委員５作品を選考のうえ投票し、得票数の多い順に次の５作品が第１次選考作品となりました。

筑　西	北つくば	筑波野	小　貝	にいばり
33票	19票	18票	14票	13票

あけぼの	波　山	常陸野	新茨城	平　成	白　票
11票	7票	5票	3票	0票	97票

筑　西　／　北つくば　／　筑波野　／　小　貝　／　にいばり

第2次選考

第２次選考においては、５作品の中から１委員３作品を選考のうえ投票し、得票数の多い順に次の３作品が第２次選考作品となりました。

筑　西	筑波野	北つくば	小　貝	にいばり	白票等
31票	17票	12票	11票	11票	50票

筑　西　／　筑波野　／　北つくば

最終選考

最終選考においては、３作品の中から１委員が１作品を選考のうえ投票し、過半数に達した最多得票数の作品を新市の名称として決定しました。

筑　西	筑波野	北つくば	白　票
25票	14票	3票	2票

筑　西

新市建設計画について

～新市の速やかな一体性の確立と均衡ある発展のために～

新市建設の根幹となるべき事業（案）
分野別施策

「新市建設の基本方針」に基づき、下館市・関城町・明野町・協和町の１市３町が一体性を高め、新市の将来像である『人と自然、安心して暮らせる共生文化都市』の実現を目指すため、次のような施策を総合的に展開します。

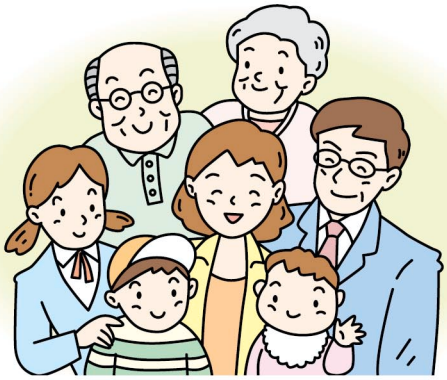
分野別施策では、次の６つの分野ごとに、主要事業の概要を紹介します。

1 「市民が安心して暮らせる福祉のまち」を目指します。

基本方向

- すべての市民が、健康に配慮した生活を送れるよう支援します。
- 関係機関と連携し、救急医療や高度医療など医療体制の確保に努めます。
- 高齢者や障害者の社会参加と自立生活への支援を進めるとともに、要介護者などに対する在宅福祉サービスを推進します。
- 子育てしやすい環境づくりに努めます。
- 社会保障制度の健全な運営に努めます。
- すべての人が利用しやすい公共施設の整備などを進めます。

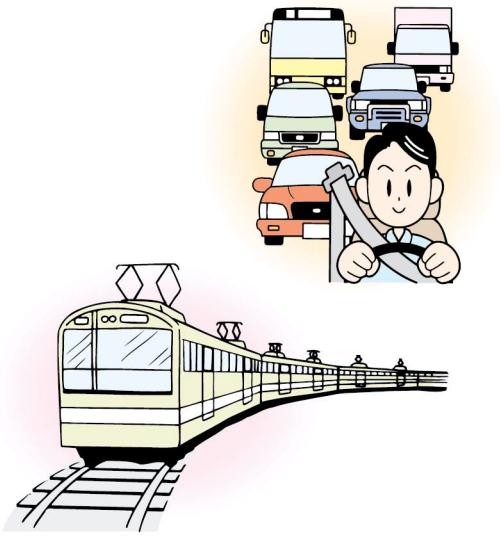
施　策　名	主要事業の概要
健康づくり	● 各種検診・健康診査の充実 ● 健康づくりの推進
医　　療	● 地域医療体制の充実・整備
高齢者福祉	● 介護予防・生きがい対応型施設の整備 ● 介護予防・地域支え合い事業の充実 ● サービス提供体制の強化
児童福祉	● 児童福祉施設の整備、子育て支援センターの設置 ● 放課後児童クラブの充実
地域福祉	● 総合福祉センターの整備 ● 市民主体の福祉活動の支援
社会保障	● 介護保険サービス提供基盤の整備促進
福祉のまちづくり	● 公共施設等におけるバリアフリー化の推進



2 「安全で快適に暮らせるまち」を目指します。

基本方向

- 広域道路網、新市の環状道路網、地区拠点を連絡する道路網、生活道路網等の整備を進めます。
- 中心市街地への都市機能の集積、地区拠点の交通基盤整備等を図ります。
- 鉄道の利便性向上とともに、市民バスや「つくば」との連携を強化するための交通手段の確保に努めます。
- 地域の均衡ある発展に配慮した公共下水道の整備を進めます。
- 上水道の普及率向上と経営合理化を進め、水の安定供給に努めます。
- 防災体制の整備や消防力の強化、防犯対策及び交通安全対策を進めます。
- 情報サービスの充実に努めます。
- 景観行政を進めるとともに、適切な公的住宅の整備・管理に努めます。



施　策　名	主要事業の概要
道　路　網	● 都市計画道路の整備（一本松・茂田線（筑西幹線道路）、中島・富士見町線など） ● つくば市との連携軸道路の整備（倉持バイパス） ● 生活道路の整備（新設改良、維持補修）
市街地整備	● シビックコア地区整備事業 ● 下館駅南北一体化等周辺整備 ● 土地区画整理事業（八丁台地区、東館地区、海老ヶ島東部地区など） ● 都市計画街路の整備
公共交通対策	● 市民巡回バスの充実 ● バスターミナル整備 ● 真岡鐵道近代化設備整備事業
公共下水道	● 汚水幹線の整備 ● 面整備の推進 ● 普及促進
上　水　道	● 水道施設の効率的運用 ● 老朽管の布設替え ● 機械設備等の更新
消防・防災	● 防災行政無線整備 ● 防災訓練
防犯・交通安全	● 犯罪の起こりにくい環境の整備 ● 住民参加による防犯対策の推進 ● 交通安全施設の整備
情報通信基盤	● 情報管理システムの統合 ● 情報提供システムの整備 ● IT基礎技能講習
住　環　境	● 市営住宅建設事業

3 「市民だれもがいきいきと学び交流するまち」を目指します。

基本方向

- 教育内容と教育環境の整備・充実を図ります。
- 市民への学習機会の提供とともに、自主的な学習活動を支援します。
- スポーツ・レクリエーション活動の振興を図ります。
- 文化財などの保存・伝承とともに、自主的な文化活動を支援します。また、青少年活動の支援や市民交流、国際交流を促進します。



施策名	主要事業の概要
就学前教育	● 幼稚園施設の整備
義務教育	● 小・中学校施設の耐震診断 ● 小・中学校施設の整備 ● 学校図書館と公立図書館とのネットワーク形成 ● 情報教育の推進 ● 学校給食センターの整備
高等学校との連携・大学等	● 大学等教育機関の立地誘導
生涯学習	● 地域図書館機能の整備 ● 地域公民館機能の充実 ● 文化祭等の充実 ● 文化活動支援事業
スポーツ・レクリエーション	● スポーツ施設の整備 ● スポーツイベントの開催
地域文化	● 芸術・文化イベントの開催 ● 拠点的文化交流施設等の整備 ● 史跡の保全活用
青少年健全育成	● 青少年団体等の活動支援
市民交流・国際交流	● 各種交流イベントの開催 ● 姉妹都市交流事業 ● 国際交流事業

4 「活力ある産業のまち」を目指します。

基本方向

- 多様な資源を有効活用し、活力ある産業のまちを目指します。
- 農業生産基盤の整備や農産物の販路の拡大、農業後継者の育成を図ります。また、循環型農業を推進します。
- 既存工業の振興と企業誘致、企業の立地を促進します。
- 都市型観光事業と連携した商店街の魅力アップを支援するとともに、新たな商業核等の立地を誘導します。
- 観光では、多様な地域資源を有効に活用して魅力アップを推進し、交流人口の増大や消費の拡大を図ります。

施策名	主要事業の概要
農業	● ほ場整備事業 ● 農道整備事業 ● 農産物加工販売施設の整備
工業	● 工業団地関連道路網の整備
商業	● 商店街活性化事業
観光	● 総合物産センター等の整備 ● 真岡線SL運行事業 ● 観光イベント事業

5 「豊かな自然環境と共生するうるおいのあるまち」を目指します。

基本方向

- 豊かな自然環境を保存・継承するとともに、有効活用するための施策を進めます。
- 拠点的な公園の充実に努めます。
- ごみ処理の減量化、省資源、リサイクルを推進し、循環型社会の形成に努めます。し尿処理は、一部事務組合による適正な処理を進めます。
- 省エネルギー対策等の推進により、地球温暖化防止に努めます。
- 公害防止対策としては、関係機関と連携し、指導や監視体制の強化に努めます。

施　策　名	主要事業の概要
環境に配慮する仕組みづくり	平地林・丘陵地の整備・保全・活用 森林環境の保全・整備
河川・水辺環境	水辺空間整備事業 観音川フラワーロード事業
公園・緑地	運動公園等都市公園の整備 鬼怒緑地広場の整備
ごみ・し尿処理	ごみ減量化・再資源化事業 循環型システムの普及
生活排水対策	農業集落排水事業 合併処理浄化槽の普及
エネルギー対策	省エネルギー対策の推進 自然エネルギーの普及啓発
公害防止	不法投棄防止監視体制の強化

6 「連携と協働で進めるまちづくり」を目指します。

基本方向

- 市民・企業・団体等との協働したまちづくりを推進します。
- 男女共同参画社会の実現を目指し、意識の啓発や仕組みの整備など多様な施策を展開します。
- すべての市民の人権が尊重され、持てる能力を十分に発揮できるまちづくりに向け、各種啓発活動を進めます。
- 市民への情報提供や広聴活動、相談事業を推進します。また、効率的な行財政運営に努めます。

施　策　名	主要事業の概要
市民活動の支援	市民協働型まちづくり推進事業
男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業
人権尊重のまちづくり	人権に関する意識啓発の推進
広報・広聴・相談	広報紙等の充実 市勢要覧の作成 広報ビデオ・情報誌作成 広聴体制の充実 相談体制の確保
効率的な行財政運営	行財政改革推進事業 行政評価推進事業 公共施設の有効活用
広域行政	効率的な行政運営の推進

第12回合併協議会は次のとおり開催予定です

■日　時　平成16年7月22日（木）午後２時
■場　所　関城町「生涯学習センター」

下館市・関城町・明野町・協和町
合併協議会だより　第10号
2004年５月14日　発行

編 集／発 行
下館市・関城町・明野町・協和町合併協議会
〒308-8616　下館市下中山732-1
TEL：0296-20-1461　FAX：0296-20-1463

●ホームページアドレス　http://www.ssak-gappei.jp　●Eメールアドレス　info@ssak-gappei.jp